



② スランプ層 [室戸市行当岬] (古第三紀)

Slump bed (Paleogene)

まだ十分固結していない堆積物が、水底の斜面を一団となってすべり下った結果、著しく褶曲したり、泥や砂が複雑に混ざりあった、特徴的な地層が形成される。

これをスランプ層という。

室戸市行当岬から吉良川町にかけての海岸には、黒色泥岩と灰色砂岩の互層が複雑に折りたたまれたり、引きちぎられて岩塊化したものが乱雑に堆積したスランプ層が分布する。

この地層の中には、クロスラミナやコンボリューションラミナなどの堆積構造や環形動物の生痕化石がいたるところで観察できる。